

編 集 後 記

開学以来 11 年目を迎え、ここに川崎市立看護短期大学紀要第 11 巻をお届けします。第 11 巻には 9 編の論文を掲載しました。5 編は看護実習や講義をめぐる研究で、著者の授業への取り組みと多様な問題意識が窺える内容です。またダウン症の子どもをもつ母親と保健指導教室、葛藤を抱える介護者と訪問看護師の支援、看護師が行う育児支援を扱った実践的研究や看護における自然科学の必要性に関する研究を収めました。いずれも著者それぞれの関心に基づき、日頃の研究や教育活動の成果をまとめたものです。

査読については一昨年度の試行実施以来経験を重ね、方法や書式類の整備など少しずつ改善を進めてまいりましたが、今年度より新たに原著、報告といった論文種類の区別を示すことにいたしました。またより広範囲の執筆者の投稿を促し、可能としてゆくことも、今後の課題となっています。

各方面からの忌憚のないご意見やご高評をいただき、さらに内容の充実を図ってゆきたいと考えております。

最後に、この度の紀要発刊にあたりご協力いただいた査読審査員をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。

(岩倉 孝明 記)

紀要・年報編集委員会

委員長	岩 倉 孝 明
副委員長	美 田 誠 二
委員	菊 池 珠 緒
委員	小 濱 優 子
委員	井 上 聡 子
事務局	角 タカ子